



☆課題工作②「本立ての製作」

西川指導員主幹 8月8, 22日(土)



一枚の板から部品を切り取り、削り、組み立てをして、本立てを完成させました。3年生にとっては、初めての経験です。難しいかなと思っていましたが、よく頑張り全員見事に作り上げました。みんな大喜びでした。

☆島内体験学習 8月19日(水)



今年度は小型船舶(500トンクラス)の建造、修理をしている(株)浦共同造船所(創業 大正10年 社長 仲野 嘉宏氏)を見学してきました。いい経験をしました。

クラブ員の感想から(はじめての体験で色々なことを学びました)

- ・ まず会議室で船の内装やしきみについてお話がありました。むずかしい言葉ばかりでした。
- ・ もともと船は木で造られていましたが、厚さ30センチの板がいたり、板だとくさったりしてしまうので鉄で造られるようになりました。CADで船の図面も見せてもらいました。
- ・ 雨の中、ヘルメットをかぶり外へ出て、船や働いている人の見学をしました。
- ・ 外には、大きな船の部品や鉄のぼうがたくさんありました。船首部分が大きいのに、びっくりしました。
- ・ 最後に質問をしました。  
1年に何隻修理しますか(修理には長い時間が必要で貨物船4隻、タンカー3隻)  
船のなかで一番こわれやすい所は(さびたところ) 仕事で大変なことは(夏の暑さで塩あめも必要)

☆課題工作③「モーターカーを作ろう」

森岡指導員主幹 9月13, 20日(日)

6月13日(土)の「電気工作の基礎」で学んだ「電池とLEDの接続」や「いろいろな電気部品」を元に「モーターカーの製作」にチャレンジしました。まずは部品表と部品を照らし合わせて、部品の確認をしました。次に部品の働きや接続方法を学び、図面を見ながら組み立てていきました。やはり動きのある作品の製作は、子どもたちも興味津々で、楽しんで工作していました。



- ↑①感電事故 イノブタの電柵
- ↑②部品の点検 テスターを使う
- ↑③部品の接続 配線ミスに注意
- ↑④完成品は 走らせてみよう

電気は見えにくく怖いと考える人も多いが、少しの知識で感電事故は防げます。人はなぜ感電するかの話(KYT)から始まり、モーターカーを完成させました。

## ☆島外体験学習 11月1日（日）



大阪池田市にあるインスタントラーメン記念館で実際にチキンラーメンを作ってきました。袋にもオリジナルの絵や文字を書きました。



インスタントラーメンの元祖発明家（日清食品創業者）安藤百福氏の銅像前で全員、記念撮影をしました。見学時間中にオリジナルのカップラーメンも作った方もいました。

秋晴れの11月1日、バンドー神戸青少年科学館へ親子連れで行ってきました。兵庫県学生児童発明くふう展を熱心に見学し、気に入ったアイデアをメモしてきました。今後の工作に生かそう。



## ☆アイデア工作の出品とその成果



↑便利な本立て  
岡山 奈津希  
北淡小4年



↑らくらく車用  
座布団  
岡山 実咲希  
北淡小5年



↑収かく楽々  
べんりいす  
上宮 聡太  
一宮小5年



↑便利！編み物  
収納ボックス  
藤田 和希  
学習小5年



↑アイデア  
文具収納ケース  
広畠 聖也  
一宮小5年



↑便利な水筒洗い器 ↑長製水器  
多賀小5年 田中 優望



岩屋中2年 金山 智哉  
←安心・安全な傘  
←風で飛ばされにくく  
壊れにくい傘

5月から始め、9月まで10回のアイデア工作活動で12名のクラブ員が16点のアイデア工作进行させました。指導員や家族とともに試行錯誤を重ねながら見事完成させました。16点のアイデア工作品を兵庫県学生児童発明くふう展に出品し、その内4点も特賞に入賞しました。惜しくも入賞を逃したクラブ員の作品も、説明書や出品表の展示の工夫が見られ見応えのあるものばかりでした。来年も挑戦して欲しいと思います。

☆ 兵庫県学生児童発明くふう展表彰式 11月3日(火)

特賞に選ばれた県下の21名とその保護者や関係者が出席して、バンドー神戸青少年科学館で表彰式が行われました。淡路少年少女発明クラブからは、これまでにない4名が入賞し、表彰式に臨みました。その時の記念写真を紹介します。詳しくは次ページの新聞記事をご覧ください。



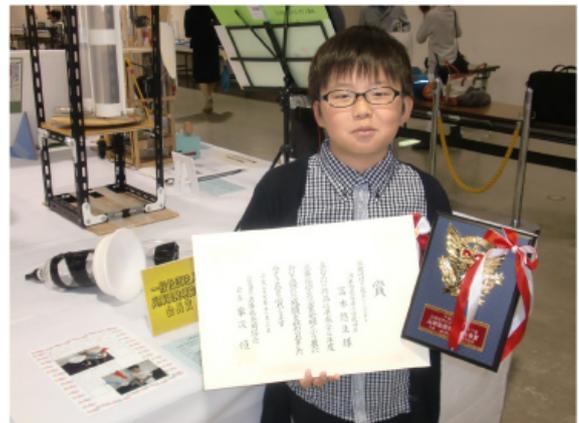
兵庫県教育長賞  
作品名「長くつかんそう機」  
生穂小学校 4年 <sup>たむら</sup>田村 <sup>がく</sup>楽



日本弁理士会近畿支部長賞  
作品名「足ふみ楽譜めくり機」  
洲本第三小学校 6年 <sup>おかだ</sup>岡田 <sup>ゆかい</sup>遊快



神戸新聞社賞  
作品名「栗むき機」  
学習小学校 5年 <sup>ふじた</sup>藤田 <sup>かづき</sup>和希



兵庫県発明協会長賞  
作品名「水鉄砲付き風呂ゴミバスター」  
安乎小学校 4年 <sup>とみもと</sup>富本 <sup>ゆう</sup>悠生

☆ 兵庫県学生児童発明くふう展クラブ内審査会の結果 9月27日(日)

毎年「兵庫県学生児童発明くふう展」の出品に先立ち、淡路少年少女発明クラブ内でも審査し、金賞、銀賞、銅賞、会長特別賞を選んでいきます。表彰式は年明けの2月に予定しています。結果は以下の通りです。

<b>金賞</b>	生穂小学校 4年	<sup>たむら</sup> 田村 <sup>がく</sup> 楽	<b>銀賞</b>	洲本第三小学校 6年	<sup>おかだ</sup> 岡田 <sup>ゆかい</sup> 遊快
<b>銅賞</b>	多賀小学校 5年	<sup>たなか</sup> 田中 <sup>ゆうむ</sup> 優望	<b>会長特別賞</b>	一宮小学校 5年	<sup>うえみや</sup> 上宮 <sup>そうた</sup> 聡太

☆「兵庫県学生児童発明くふう展 特賞受賞」の市長への報告会

11月12日(木)

「兵庫県学生児童発明くふう展」の特賞受賞を受けて、11月12日(木)淡路市長への報告会を行いました。その時の様子を神戸新聞社が大きく報道してくれました。



2015.11.14(土)  
 (第3種郵便物認可) 神戸新聞  
**県学生児童発明くふう展**

**島内の4人特賞に輝く**

淡路島内の児童が発明や工作に取り組み「淡路少年少女発明クラブ」の4人の作品が、神戸市であった「県学生児童発明くふう展」(県発明協会主催、10月31日〜11月3日)で特賞に選ばれた。

来春3月に東京・科学技術館である「全日本学生児童発明くふう展」の応募作品として推薦される。  
 (内田亜紀)



特賞に輝いた(後列左から)岡田遊快君、田村楽君(前列左から)冨本悠生君、藤田和希さん(淡路市役所)

受賞したのは、県教育長 日本弁理士会近畿支部長賞  
 賞||生種小4年田村楽君||洲本第三小6年岡田遊快君

淡路少年少女発明クラブ所属 **来春の全国展に推薦**

田村君の「長くつかんそう機」



岡田君の「足ふみ楽譜めくり機」



君(神戸新聞社賞)学習小5年藤田和希さん(県発明協会賞)安平小4年冨本悠生君。

同クラブは1990年、旧津名町で設立。2014年度までは淡路市の児童のみだったが15年度、洲本市の2人が加入した。現在20人が淡路市志筑の中央公民館で月2回、元技術教師らからの指導を受ける。

「県学生」には県内各「地から約150点の応募があり、21点が県知事賞などの特賞に選ばれた。同クラブだけにめぐるよう工夫した。

**田村楽君 / 岡田遊快君**

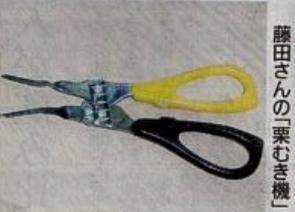
「長くつかんそう機」は、腰に付けたフアンからホースを通して空気が送り込む「長くつかんそう機」を考案した。はきみの持ち手を手を閉じると先端が開くように改造。「家族の作業を助げたい」と思いやる。

冨本君はスプレーとベットのボルトなどをホースにつなげた「水鉄砲付き風呂ミスター」を製作。お湯の取り込み口に付けたネットで「お水をきれいにする」と笑う。

藤田和希さん / 冨本悠生君

藤田さんは「アリの飯なプからは12人が計16点を応募した。」と喜ぶ。

藤田さんは「アリの飯なプからは12人が計16点を応募した。」と喜ぶ。



藤田さんの「栗むき機」



冨本君の「水鉄砲付き風呂ミスター」

☆協賛企業のご紹介

ミツ精機 株式会社	ムネ製薬 株式会社	株式会社 三和製作所	山本光学 株式会社
--------------	--------------	---------------	--------------